

小池中がオリジナルベンチを交通公園へ寄贈

－地元企業とコラボして制作した「ベンチ」で憩いの場を演出－

小池中学校では、平成27年より地域貢献活動の一環として「糸半（いとはん）プロジェクト」に取り組んでいます。

当該活動において、燕の魅力を広く発信できるようなオリジナルベンチの作成について令和3年度から構想を開始し、地元企業である(株)アベキンの協力を得て、今年度完成いたしました。ベンチは金属製でカトラリーがデザインされており、「燕の魅力を世界へ」という生徒たちの思いが込められています。

今回、完成したベンチが燕市交通公園に寄付されることから、贈呈式を行います。

【贈呈式について】

- 1.日 時：3月29日（水）午後3時15分～
- 2.会 場：燕市交通公園 ※少雨決行
- 3.出席者：小池中学校生徒、(株)アベキン
燕市長、教育長、都市整備部長 ほか
- 4.内容：(1) ベンチの贈呈（1台）
(2) 記念写真撮影 等



(株)アベキン担当者とお池中生徒による会議の様子

【「糸半（いとはん）プロジェクト」について】

小池中学校生徒会が中心となって立ち上げたプロジェクトであり、お世話になっている地域の方々への恩返しと、小池中学校の良さを地域へ発信することを目的とする。

小池中学生が縦糸、地域の方々を横糸となり、お互いの力を出し合って、絆を深めたいという願いが込められている。

燕市の「羽ばたけつばくろ応援事業」※を活用し、今回寄贈するベンチの作成以外にも様々な取り組みを行っている

※「羽ばたけつばくろ応援事業」とは

若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画を支援する事業。若者の自由な発想と行動力があられる企画を募集し、活動費を助成している。

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 学校教育課：菅原
電話：0256-77-8195（直通）